

3. 事業報告書

事業報告書

令和2年度 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係 (引受)

年産	共済 目的	支所別	組合員数	引受面積	引収収量	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手 持 共済掛金 (A) ± (B)	
令和2年産	水稻	南部支所	人	a	kg	円	円	円	円	
		本所・石井分室	3,927	312,818.8	9,841,264	1,693,361,548	3,316,481			
		西部支所	3,069	158,947.7	5,276,484	961,462,589	1,877,534			
		計	2,615	118,754.7	3,838,020	644,801,886	1,317,876			
	麦	南部支所	9,611	590,521.2	18,955,768	3,299,626,023	6,511,891	6,485,957	12,997,848	
		本所・石井分室	7	2,080.8	15,374	176,808	2,135			
		西部支所	4	1,672.2	23,458	216,832	1,664			
令和3年産	麦	計	22	3,275.0	47,670	1,757,351	26,300			
		延実	33	7,028.0	86,502	2,150,991	30,099	30,742	60,841	
		合計	延実	9,644 9,323	597,549.2	19,042,270	3,301,777,014	6,541,990	6,516,699	13,058,689
		南部支所	3	1,148.2	9,272	101,992	1,016			
令和3年産	麦	本所・石井分室	3	1,415.0	18,651	167,853	1,222			
		西部支所	22	4,909.6	64,754	1,491,130	22,502			
		計	28	7,472.8	92,677	1,760,975	24,740			

(参考)

	水				稲			
	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額
前年度対比	97.4%	92.0%	93.1%	97.4%	84.8%	106.3%	107.1%	81.9%
事業計画対比		90.8%	92.0%	96.2%		106.8%	107.6%	82.5%
1.0a当たり			321kg	55,877円			124kg	2,357円
1.組合員当たり		61.4a	1,972kg	343,318円		266.9a	3,310kg	62,892円

(引受の概況)

水稻 任意加入制に伴う非加入 (360ha)、収入保険移行 (60ha)、栽培中止など (80ha) のため、引受面積、引受収量及び共済金額が減少した。

麦 作付減、作付中止 (9.1ha) 及び収入保険への移行 (1戸、18.6ha:令和2年作付面積) により、組合員数、共済金額は減少したが、令和3年産 西部の法人が大幅に作付を増やしたため、引受面積、引受収量については増加した。

(被 害)

共済目的	支所別	被害 組合員数	共済減収量	共済金	共済金 共済金額
水稻	南部支所	人	kg	円	%
	本所・石井分室	132	52,488	7,872,536	0.5
	西部支所	83	12,897	2,350,516	0.2
	計	189	33,816	5,983,179	0.9
	計	404	99,201	16,206,231	0.5
麦	南部支所	4	336	3,408	1.9
	本所・石井分室	1	93	837	0.4
	西部支所	0	0	0	0.0
	計	5	429	4,245	0.2
合計		延 409	99,630	16,210,476	0.5

【水 稲】
風水害

- ・台風10号による倒伏【徳島】（最大風速16.5m/s、最大瞬間風速27.7m/s、積算雨量87.5mm）により、穂発芽等が発生し、減収した。また、小松島市の一部では局地的に出穂期や穂揃期に風雨に当たり、受粉不良、稔実不良、稔実不良が発生した。
- ・7月の曇雨天が続いた結果、日照不足【徳島】7月日照時間101.8時間（平年値195.6時間）により、イモチ病が発生した。特に、小松島市、阿南市、美馬市で多く発生した。
- ・平野部では、スクミリンゴガイによる食害が発生した。
- ・また、ウンカが大量に発生し、坪枯れが発生した。特に東みよし町では非常に多く発生した。
- ・徳島市の一部にスズメによる食害が発生した。
- ・山間地域を中心にシカ、サルによる食害、イノシシによる踏み倒しが発生した。
- ・令和2年4月12日、13日の大雨（【池田】107.5mm）により、冠水や道路から雨水の流入により倒伏が発生した。倒伏した麦は登熟が進まず、根腐れや穂の腐敗も発生し減収した。
- ・発芽期から伸長期に当たる令和元年12月下旬【徳島】46.0mm（平年10.8mm）、令和2年1月下旬【徳島】63.0mm（平年16.5mm）の降雨により、一部の圃場では過湿状態が続き、根腐れが発生し減収した。
- ・阿南市においてシカによる食害が発生し減収した。

【 麦 】
風水害

土壌湿潤害

獣害

(支 払)

共済目的	支払年月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
			保険金	手持掛金	法定積立金	特別積立金	その他	
水稻	令和2年12月18日	16,206,231	円	円	円	円	円	%
			0	12,997,848			0	100.0
麦	令和2年8月11日	4,245	0	4,245			0	100.0
計		16,210,476	0	13,002,093	3,208,383	0	0	100.0

(損害防止)

- ・地域の実情に応じ乗用防除機、自走式高圧噴霧器、自走式草刈り機等の損害防止機器の貸し出しを行い病虫害防除に努め、共同防除組織に対しては薬剤費の一部助成をするなど共同防除体制作りを進めた。
- ・中山間地における獣害対策としては、電気柵等獣害防止設備の設置費用の一部助成を行った。
- ・病害虫発生予察情報、高温障害予察情報の提供など関係機関と連携し、適切な損害防止情報の提供に努めた。

(2) 家畜共済関係
(引受)

区分	項目	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
死亡廃用共済	搾乳牛	3,216	2,598	2,655	102.2	584,253,640	18,011,657			
	繁殖用雌牛	3,754	1,645	1,783	108.4	428,144,295	846,820			
	育成乳牛 (子牛等)	1,574	798	827 (32)	103.6	240,273,590	1,530,494			
	育成・肥育牛 (子牛等)	29,124	14,349	15,076 (865)	105.1	4,351,300,775	17,945,820			
	育成・肥育馬	20	1	0	0.0	0	0			
	種豚	3,976	50	679	1,358.0	52,304,800	1,060,428			
疾病傷害共済	肉豚	33,889	600	0	0.0	0	0			
	計	75,553	20,041	21,020	104.9	5,656,277,100	39,395,219	0	38,981,319	78,376,538
	乳用牛	3,088	2,735	2,666	97.5	45,548,206	16,794,361			
	肉用牛	19,067	8,155	8,314	101.9	40,263,621	6,517,782			
	一般馬	20	15	15	100.0	26,000	7,279			
	種豚	3,976	50	0	0.0	0	0			
合計		26,151	10,955	10,995	100.4	85,837,827	23,319,422	0	23,308,053	46,627,475
合計		101,704	30,996	32,015	103.3	5,742,114,927	62,714,641	0	62,289,372	125,004,013

項目 区分	事業計画頭数		死亡廃用共済						疾病傷害共済			合計		引受頭数 事業計画頭数		
	死亡廃用 共済	疾病傷害 共済	搾乳牛	繁殖用 雌牛	育成乳牛	育成・ 肥育牛	種豚	乳用牛	肉用牛	一般馬	死亡廃用 共済	疾病傷害 共済	頭	%	頭	%
南部支所	3,030	1,905	34	117	11	2,894	0	35	1,745	15	100.9	94.2	1,795	100.9	94.2	
本所・石井分室	5,987	3,140	1,346	746	391	4,445	0	1,545	1,788	0	115.7	106.1	3,333	115.7	106.1	
西部支所	11,024	5,910	1,275	920	425	7,737	679	1,086	4,781	0	100.1	99.3	5,867	100.1	99.3	
計	20,041	10,955	2,655	1,783	827	15,076	679	2,666	8,314	15	104.9	100.4	10,995	104.9	100.4	

(引受の概況)

牛については、疾病傷害共済のみに加算していた組合員に対し、死亡廃用共済への加入を推進したこともあり、加入頭数が前年度より488頭増加した。また、戸数では4戸の新規引受があった一方、10戸の廃業があった。その他、種豚（死亡廃用共済）について679頭の新規引受があった。

区分	項目	死亡廃用共済				疾病傷害共済	
		搾乳牛	繁殖用雌牛	育成乳牛	育成・肥育牛	乳用牛	肉用牛
引受頭数前年度対比 (%)		99.5	105.6	101	102.3	97.3	101.7
1頭あたり平均共済金額 (円)		220,058	240,126	290,536	288,624	17,085	4,843
1頭共済金額前年対比 (%)		101.2	171.1	72.9	103.5	99.6	93.1

項目 区分	死麁事故				疾病傷害共済	
	死亡頭数	麁用頭数	總頭数	支払共済金	件数	支払共済金
搾乳牛	頭	頭	頭	円	件	円
繁殖用雌牛	88	202	290	38,181,027	3,280	39,146,660
育成乳牛	10	6	16	2,121,495	2,909	26,117,101
(子牛等)	19	4	23	2,749,668	15	52,000
	(12)				0	0
育成・肥育牛	139	10	149	14,411,238		65,315,761
(子牛等)	(72)				6,204	
育成・肥育馬	0	0	0	0		
種豚	5	0	5	389,600		
肉豚	0	0	0	0		
計	261	222	483	57,853,028		

死傷事故において、頭数は前年度より49頭減（前年対比90.8%）となり、支払共済金は361万円減（前年対比94.1%）となった。また、病傷事故において、件数は前年度より328件増（前年対比105.6%）となり、支払共済金は59万円増（前年対比100.1%）となった。

(損害防止)

実施種目	対象数	経費概算	摘要
特定損害防止	頭 0	円 0	
一般健康検査	頭 28	円 58,086	・血液検査、乳房炎検査等
一般損害防止	頭 14,346	円 1,461,256	・畜舎消毒の実施 ・予防薬（ピタミン剤、整腸剤、消毒薬等）の配布
飼養管理指導	戸 89	円 0	・エコーによる繁殖検診 ・管理方法の巡回指導

(診療所)

	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概要	
	人	頭	頭	件	件	頭	頭	円	
家畜診療所	8	26,151	10,995	3,054	1,345	28	0	58,086	

(3) 果樹共済関係

(引受)

年度	果樹区分	支所別	組合員数	引受面積 a	標準収獲量・ 基準生産金額・ 標準収獲金額 kg・円	共済金額 円	徴収共済掛金 円	交付金又は 納入保険料 円	手持共済掛金 円
平成 30 年度	収穫	指定かんきつ (ゆず) 災害収入共済方式							
		南部支所	人	162.6	4,169,779	3,332,000	47,537		
		本所・石井分室	6	26.0	1,359,072	1,086,000	13,576		
		西部支所	3	734.1	10,090,167	6,740,000	83,831		
	収穫	計	24	922.7	15,619,018	11,158,000	144,944	64,601	209,545
		うんしゅうみかん 半相殺 減収総合一般方式	33						
		南部支所	79	3,822.5	527,802	45,900,000	1,459,274		
		本所・石井分室	3	33.7	3,937	410,000	12,929		
		計	82	3,856.2	531,739	46,310,000	1,472,203		
		指定かんきつ (ゆず) 災害収入共済方式	22	606.1	23,696,880	13,878,000	170,162		
令和元年度	収穫	南部支所	3	31.8	1,771,889	1,416,000	16,142		
		本所・石井分室	22	685.3	9,028,584	5,799,000	66,628		
		計	47	1,323.2	34,497,353	21,093,000	252,932		
		うめ 樹園地単位減収総合 一般方式	12	408.8	11,325	1,317,000	53,286		
	樹体	本所・石井分室	9	266.6	4,416	510,000	21,539		
		計	21	675.4	15,741	1,827,000	74,825		
		うんしゅうみかん 樹体共済	85	4,421.2	85,776,530	201,750,000	159,920		
		本所・石井分室	3	33.7	606,298	2,600,000	2,201		
		計	88	4,454.9	86,382,828	204,350,000	162,121		
		なし 半相殺特定危険減収 暴風雨方式	36	1,844.0	364,632	96,060,000	723,716		
令和2年度	収穫	合計	274	12,153.7	369,640,000	2,685,797	2,685,797	691,110	3,376,907
		うんしゅうみかん 半相殺 減収総合一般方式	71	3,466.3	468,460	45,090,000	1,433,681		
		南部支所	3	37.1	4,188	480,000	15,143		
		計	74	3,503.4	472,648	45,570,000	1,448,824		
	収穫	指定かんきつ (ゆず) 災害収入共済方式	17	425.4	14,552,072	9,066,000	112,538		
		本所・石井分室	2	26.9	1,558,946	1,246,000	14,204		
		西部支所	19	632.0	8,897,521	5,607,000	62,736		
		計	38	1,084.3	25,008,539	15,919,000	189,478		
		うめ 樹園地減収総合一般 方式	12	408.6	10,143	1,329,000	54,081		
		本所・石井分室	9	254.3	4,271	559,000	23,513		
令和2年度	樹体	計	21	662.9	14,414	1,888,000	77,594		
		うんしゅうみかん 樹体共済	79	4,154.6	88,040,451	204,530,000	162,855		
		本所・石井分室	3	37.1	716,148	2,970,000	2,543		
		計	82	4,191.7	88,756,599	207,500,000	165,398		
	収穫	なし 半相殺特定危険減収 暴風雨方式	29	1,381.6	278,514	72,350,000	537,291		
		合計	244	10,823.9	343,227,000	2,418,585	2,418,585	581,975	3,000,560

(参考)

収獲共済					
うんしゅうみかん	組合員数	引受面積	標準収獲量	共済金額	
前年度対比	90.2%	90.9%	88.9%		98.4%
事業計画対比		68.7%			74.5%
10a 当たり			1,349 kg		130,074 円
1 組合員当たり		47.3a	6,387 kg		615,811 円

指定かんきつ(ゆず)					
前年度対比	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	
前年度対比	80.9%	81.9%	72.5%		75.5%
事業計画対比		74.8%			67.7%
10a 当たり			230,642 円		146,814 円
1 組合員当たり		28.5a	658,119 円		418,921 円

うめ					
前年度対比	組合員数	引受面積	標準収獲量	共済金額	
前年度対比	100.0%	98.1%	91.6%		103.3%
事業計画対比		102.0%			107.9%
10a 当たり			217 kg		28,481 円
1 組合員当たり		31.6a	686 kg		89,905 円

なし					
前年度対比	組合員数	引受面積	標準収獲量	共済金額	
前年度対比	80.6%	74.9%	76.4%		75.3%
事業計画対比		72.7%			72.0%
10a 当たり			2,016 kg		523,668 円
1 組合員当たり		47.6a	9,604 kg		2,494,828 円

樹体共済

うんしゅうみかん

前年度対比	組合員数	引受面積	標準収獲金額	共済金額
前年度対比	93.2%	94.1%	102.7%	101.5%
事業計画対比		74.9%		80.8%
10a 当たり			211,744 円	495,026 円
1 組合員当たり		51.1a	1,082,398 円	2,530,488 円

引受の概況

高齢化、離農、廃業等の理由、また果樹共済から収入保険への移行者も含め加入戸数が減少した。

- ・うんしゅうみかん(解約6戸、収入保険移行2戸)
- ・ゆず(解約8戸、収入保険移行1戸)
- ・なし(解約4戸、収入保険移行3戸)
- ・うんしゅうみかん樹体(解約6戸)

(被 害)

収穫共済

果 樹 区 分		被害 組合員数	共済金 円	共済金 共済金額 %
平成 30年 度	指定かんきつ (ゆず)	南部支所		
		本所・石井分室	172,655	5.2%
		西部支所	0	0.0%
		計	172,655	1.5%
令和 元年 度	樹体	南部支所	0	0.0%
		本所・石井分室	0	0.0%
	うんしゅうみかん	計	0	0.0%
		本所・石井分室	287,810	21.9%
	うめ	西部支所	0	0.0%
		計	287,810	15.8%
	なし	本所・石井分室	0	0.0%
		南部支所	552,000	1.2%
令和 元年 度	うんしゅうみかん	本所・石井分室	0	0.0%
		計	552,000	1.2%

被害の概況

【うんしゅうみかん】

- ・干害：令和2年7月は、梅雨前線の停滞により長雨、日照不足が続いた。8月16日には那賀町で39.0度と県内の過去最高気温を更新し県内では連日の猛暑（穴吹で8月11日～8月21日連続猛暑日）による土壌乾燥の影響により黄萎葉の落葉、果実の落果や肥大に影響し、生産量が減収した。併せて日焼け果も多く見られた。
- ・風水害：令和元年の台風10・17・18号の暴風雨による倒木、枝折れの影響により、令和2年産の着花（果）数に伴う減収が生じた。

【ゆず】

- ・風水害：平成30年9月上旬の台風21号、下旬の24号の暴風雨の影響により、樹の倒伏、枝折れ等が発生したため、翌年産（令和2年産）の着果の減収が生じた。令和元年9月、10月の台風の影響により傷果、枝折れ等が発生し収穫に減収をもたらした。
- ・病害：黒点病が発生し、品質が低下した。

【うめ】

- ・その他の気象上の原因：暖冬の影響もあり、開花時期にばらつきがあり、受粉が十分にできなかった。2月上旬から3月中旬にかけて1日の平均気温としてはあまり高くなかったこともあり、ミツバチの活動が抑制され、受粉不良となり着果不良が発生した。
- また、着果が木の外周辺りで内側には確認されない樹が多く見られた。4月下旬から5月の高気温により生理落果が助長された。

(支 払)

果 樹 区 分		支払年月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金	
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金	
平成 30年 度	収 穫	指定かんきつ (ゆず)	円	円	円	円	円	円	円	%
令和 元 年 度	樹 体	令和2年10月23日	172,655		172,655			0	0	100.0
		うんしゅうみかん						0		
	収 穫	令和2年9月28日	287,810		77,801			0	0	100.0
		な し						0		
		うんしゅうみかん	552,000		552,000			0	0	100.0
計			1,012,465	0	802,456	210,009	0	0	0	100.0

(損害防止)

暴風雨への注意、予防措置の喚起及び損害防止機器の貸出しによる損害防止事業を行った。

(4) 畑作物共済関係
(引受)

年度	畑作物区分	項目	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持 共済掛金 (A ± B)
令和 2年度	第一区分 大豆	西部支所	人 5	a 166.6	kg 624	円 114,907	円 1,880	円 702	円 2,582
		計	延 5						
			実 5	166.6	624	114,907	1,880	702	2,582

(参考)
大豆

項目	組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	手持共済掛金
前年度対比	83.3%	77.9%	71.1%	72.8%	68.1%
事業計画対比		66.6%		62.1%	64.6%
10a当たり			37kg	6,897円	
1組合員当たり		33.3a	125kg	22,981円	

引受の概況

収入保険への移行が1件。気象上の問題、高齢化により収穫量の確保が困難となり、作付減となった。

(被 害)

畑作物区分	項目	被 組 合 員 数	共 済 減 収 量	共 済 金	共 済 金 額
第一区分 大豆		人	kg	円	%
	西部支所	0	0	0	0.0
	計	延 実 0 0	0	0	0.0

被害の概況
比較的気候が良好に推移したため、無被害となり、共済金支払いはなかった。

(損害防止)
病害虫発生予察情報、高温障害予察情報の提供など関係機関と連携し、適切な損害防止情報の提供に努めた。

(5) 園芸施設共済関係
(引受)

区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納 入保険料(B)	手持共済掛金 (A±B)
ガ ラ ス 室	I類	人	棟	m ²		円	円	円	円
	II類	7	8	5,707	63,070,077	50,455,860			
	I類	1	1	72	273,000	217,000			
	II類	847	1,734	568,938	1,054,399,375	834,874,773			
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	III類	351	483	466,276	1,627,335,616	1,292,841,635			
	IV類甲	254	358	295,390	1,243,377,355	999,651,345			
	IV類乙	53	70	89,500	469,275,253	375,719,847			
	V類	25	33	36,575	243,704,945	194,955,341			
	VI類	18	58	15,639	32,606,380	19,759,414			
	VII類	22	103	73,707	36,197,403	28,916,319			
	計	延 1,578 実 1,110	2,848	1,551,804	4,770,239,404	3,797,391,534	21,363,991	13,911,694	35,275,685

区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金	交付金	手持共済掛金
南 部 支 所		人	棟	m ²		円	円	円	円
		536	925	643,246	2,143,206,311	1,704,121,490			
		636	1,081	532,427	1,540,597,037	1,233,872,522			
		406	842	376,131	1,086,436,056	859,397,522			
西 部 支 所	計	1,578	2,848	1,551,804	4,770,239,404	3,797,391,534	21,363,991	13,911,694	35,275,685

(参考)

区分	項目	共済価額	1棟当たり平均 共済金額	付保割合
ガ ラ ス 室	I類	円	円	%
	II類	7,883,760	6,306,983	80.0
	I類	273,000	217,000	79.5
	II類	608,073	481,473	79.2
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	III類	3,369,225	2,676,691	79.4
	IV類甲	3,473,121	2,792,322	80.4
	IV類乙	6,703,932	5,367,426	80.1
	V類	7,384,998	5,907,738	80.0
	VI類	562,179	340,680	60.6
	VII類	351,431	280,741	79.9
	平均	1,674,944	1,333,354	79.6

(引受の概況)

顧客リストを基にした戸別訪問、生産部会の集団加入、関連機関からの
農業者紹介により240棟の新規引受があったが、規模縮小(被覆・作付の中
止)、高齢化や後継者不在による廃業もあり全体では前年度より実戸数で6
人増、棟数で9棟の減少となった。

(被害)

区分	項目	被害		損害の額		共済金						共済金 共済金額 %
		組合員数	棟数	被害 棟数	被害 棟数	特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	撤去費用	本体復旧費用	附帯復旧費用	合計
ガラス室	I 類											
	II 類											
	I 類											
	II 類	54	82	0	6,793,122	4,851,650		194,090	35,112	0	0	5,080,852
	III 類	24	29	0	10,388,346	5,972,894		2,283,743	0	0	0	8,256,637
	IV 類甲	28	36	0	6,088,388	2,835,482		2,133,051	0	0	0	4,968,533
	IV 類乙	2	2	1	190,375	42,856	25,232	84,211	0	0	0	152,299
プラスチックハウス	V 類	2	2	0	1,792,114	0	0	1,433,691	0	0	0	1,433,691
	VI 類											
	VII 類											
計		延 110	151	1	25,252,345	13,702,882	25,232	6,128,786	35,112	0	0	19,892,012

区分	項目	被害		損害の額		共済金						共済金 共済金額 %
		組合員数	棟数	被害 棟数	被害 棟数	特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	撤去費用	本体復旧費用	附帯復旧費用	合計
南部支所		31	52	1	10,571,797	5,292,506	25,232	2,729,487	0	0	0	8,047,225
	本所・石井分室	52	72	0	10,083,084	6,493,429	0	1,639,600	35,112	0	0	8,168,141
	西部支所	21	27	0	4,597,464	1,916,947	0	1,759,699	0	0	0	3,676,646
計		実 104	151	1	25,252,345	13,702,882	25,232	6,128,786	35,112	0	0	19,892,012

(被害の概況)

令和2年9月6日の台風10号(徳島地方気象台徳島観測所:最大瞬間風速22.9m/s、日和佐観測所:最大瞬間風速25.9m/s)の影響により、県下全域で強風が発生し、本体、被覆材が損傷する被害が多数発生した。

(9月:被害棟数58棟、支払共済金560万円)

事故の種類別

風害:126棟、1,264万円、鳥獣害:5棟、36万円、雪害:2棟、76万円、施設内農作物の病虫害:18棟、613万円。

全損事故は被害棟数5棟、支払共済金291万円となった。

(損害防止)

徳島地方気象台の気象情報から、組合ホームページにて強風、大雨、大雪被害への注意を喚起し、適切な損害防止に努めるよう促した。また、施設内農作物評価時、損害評価員より今後の栽培管理や防除方法、再発防止策を指導した。

(支払)

実支払共済金	共済金支払財源				実支払共済金	
	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
19,892,012	2,334,654	17,557,358	0	0	0	100.0

(6) 任意共済関係

ア 建物共済

(引受)

区分	項目	加入棟数	共済金額 万円	共 済 掛 金		1棟当たり平均 共済金額	任意保険料	保険手数料
				純共済掛金	賦課金			
南部支所		棟 6,774	5,981,546	円 40,804,909	円 21,739,672	円 8,830,154	円	円
本所・石井分室		6,691	5,768,455	37,292,837	21,360,195	8,621,215		
西部支所		16,072	16,123,830	99,195,088	62,477,086	10,032,249		
合 計		29,537	27,873,831	177,292,834	105,576,953	9,436,920	96,637,609	28,562,539
前年度実績		30,463	28,536,576	176,971,704	107,545,212	9,367,618	90,706,586	29,105,342
前年比(%)		97.0	97.7	100.2	98.2	100.7	106.5	98.1

総共済掛金額 282,869,787円 任意保険割合 地震50%・地震以外30%

保険手数料割合 32.1%(平均)

(引受の概況)

令和2年度は火災共済から総合共済への掛け替えが95棟、共済金額は9億4,700万円あり、新規加入や解約等も含め総合共済では棟数92棟、共済金額14億3,470万円の増加となった。火災共済では契約内容の見直しや他保険への切り替え等の加入中止により、前年度から棟数・共済金額ともに大きく減少し、全体では前年度を棟数で953棟、共済金額では69億1,545万円下回る結果となった。

(事 故)

区分	項目	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)	備考
				火災	風水害等			
南部支所	棟	21	万円 23,905	円 197,105	円 1,428,691	円 487,732	%	0.7
本所・石井分室	26	24,800	1,058,376		2,206,724	979,525	1.3	
西部支所	36	42,850	38,213,927		5,515,016	13,118,674	10.2	
合計	83	91,555	39,469,408		9,150,431	14,585,931	5.3	
前年度実績	97	124,655	147,896,274		14,015,801	48,573,573	13.0	
前年比 (%)	85.6	73.4	26.7	65.3		30.0		

(事故の概況)

令和2年度は9月の台風10号等により損傷を受けた自然災害が24棟発生した。事故件数は前年比で85.6%、加入共済金額で73.4%となった。令和2年度より支払対象となった水道管凍結の支払件数は35件となった。支払共済金は前年比で火災共済では26.7%、総合共済では65.3%となった。

建物共済原因別事故発生状況

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被害率 (ロ) / (イ)
失 火	棟 7	万円 9,700	円 35,950,111	円 10,785,032	% 37.1
水 道 管 凍 結	35	39,505	1,255,316	376,589	0.3
落 雷	11	13,100	1,456,409	436,919	1.1
そ の 他	6	8,750	2,681,724	804,515	3.1
自 然 災 害	24	20,500	7,276,279	2,182,876	3.5
合 計	83	91,555	48,619,839	14,585,931	5.3

イ 農機具損害共済
(引 受)

区分	項目	加入台数	共済金額	共 済 掛 金		1台当たり平均 共済金額
				純 共 済 掛 金	賦 課 金	
南 部 支 所	台	289	万円 73,384	円 2,516,359	978,866	円 2,539,239
本所・石井分室	683		121,836	4,496,007	1,621,592	1,783,836
西 部 支 所	575		130,921	4,630,295	1,749,682	2,276,887
合 計	1,547		326,141	11,642,661	4,350,140	2,108,216
前 年 度 実 績	1,481		305,518	10,939,624	4,087,015	2,062,917
前 年 比 (%)	104.5		106.8	106.4	106.4	102.2

(引受の概況)

令和2年度は、他共済の引受時や収入保険加入推進時の同時推進や戸別訪問による推進により、前年度と比べ台数で66台、共済金額では2億623万円増加となった。

(事 故)

区分	項目	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ) / (イ)	備考
南 部 支 所	台	14	万円 5,564	円 1,090,839	% 2	
本所・石井分室	20		4,865	2,673,600	5.5	
西 部 支 所	16		6,590	3,278,807	5	
合 計	50		17,019	7,043,246	4.1	
前 年 度 実 績	47		14,280	8,251,994	5.8	
前 年 比 (%)	106.4		119.2	85.4		

(事故の概況)

事故台数は50件の支払いがあり、前年比では事故件数は106.4%、支払共済金は85.4%となった。
機種別ではコンバインの事故が26台、トラクターの事故が13件発生し、全体の78%を占めた。
また事故原因では接触事故が34台と全体の78%を占め、支払共済金は399万円と全体の56.7%となった。

農機具損害共済 原因別事故発生状況

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ) 万円	支払共済金 (ロ) 円	被害率 (ロ) / (イ) %
接 触	34	13,450	3,997,079	3.0
墜 落	1	150	72,196	4.8
落 雷	3	255	298,507	11.7
突 風	1	40	349,800	87.5
獣 害	3	660	173,569	2.6
その他	8	2,464	2,152,095	8.7
	50	17,019	7,043,246	4.1

機種別・原因別事故発生状況

(単位：事故台数(台)、加入総共済金額(万円)、支払共済金(円)、被害率(%))										
機種	種	接 触	転 覆	墜 落	落 雷	突 風	破 害	異物の巻込	その他	合 計
乗用トラクタ	事故台数	9		1					3	13
	加入総共済金額(円)	3,615		150					1,700	5,465
	支払共済金(円)	1,663,664		72,196					370,023	2,105,883
	被害率(円/台)	4.6		4.8					2.2	3.9
自脱型コンバイン	事故台数	21						2	3	26
	加入総共済金額(円)	9,015						550	532	10,097
	支払共済金(円)	2,120,466						159,280	414,205	2,693,951
	被害率(円/台)	2.4						2.9	7.8	2.7
田植機	事故台数	1							1	2
	加入総共済金額(円)	110							42	152
	支払共済金(円)	71,566							37,867	109,433
	被害率(円/台)	6.5							9.0	7.2
掘取機	事故台数	1								1
	加入総共済金額(円)	180								180
	支払共済金(円)	76,142								76,142
	被害率(円/台)	4.2								4.2
米選別機	事故台数								1	1
	加入総共済金額(円)								190	190
	支払共済金(円)								1,330,000	1,330,000
	被害率(円/台)								70.0	70.0
草刈り機	事故台数(円/台)	1							1	1
	加入総共済金額(円)	100								100
	支払共済金(円)	49,566								49,566
	被害率(円/台)	5.0								5.0
施肥播種機	事故台数				1					1
	加入総共済金額(円)				200					200
	支払共済金(円)				83,600					83,600
	被害率(円/台)				4.2					4.2
管理機	事故台数	1							1	1
	加入総共済金額(円)	430								430
	支払共済金(円)	15,675								15,675
	被害率(円/台)	0.4								0.4
低温貯蔵庫	事故台数				2	1				3
	加入総共済金額(円)				55	40				95
	支払共済金(円)				214,907	349,800				564,707
	被害率(円/台)				39.1	87.5				59.4
乾燥機	事故台数							1		1
	加入総共済金額(円)							110		110
	支払共済金(円)							14,289		14,289
	被害率(円/台)							1.3		1.3
合 計	事故台数	34	0	1	3	1		3	8	50
	加入総共済金額(円)	13,450	0	150	255	40		660	0	17,019
	支払共済金(円)	3,997,079	0	72,196	298,507	349,800		173,569	0	7,043,246
	被害率(円/台)	3.0	0.0	4.8	11.7	87.5		2.6	8.7	4.1

(7) 業務関係
ア 重要な処理事項

年 月 日	項 目	備 考
令和2年4月		
4.6～7	新任職員研修会	本所
4.7	収入保険に係るテレビ会議	全国農業共済組合連合会（テレビ会議）
4.8	家畜共済病傷事故診断書審査委員会	本所
4.9	農作物共済担当者会	本所・各支所（テレビ会議）
4.10	医薬品等入札説明会	本所
4.9	農作物共済担当者会	本所・各支所（テレビ会議）
4.13	第1回理事会	本所・各支所（テレビ会議）
4.13	役員協議会	本所・各支所（テレビ会議）
4.15	果樹共済担当者会	本所・各支所（テレビ会議）
4.17	災害対策本部会議	本所
4.20	損害評価会全体会議	本所
4.22～4.28	各地区総代協議会	本所・各支所
4.23	収入保険に係るテレビ会議	全国農業共済組合連合会（テレビ会議）
4.24	徳島県収入保険推進協議会 設立総会	書面による決議
令和2年5月		
5.7	災害対策本部会議	本所
5.7	四国地区広報会議	香川県（テレビ会議）
5.11	管理職会議及びコンプライアンス担当者会議	本所・各支所（テレビ会議）
5.11	収入保険に係るテレビ会議	全国農業共済組合連合会（テレビ会議）
5.12～5.15	収入保険職員研修会	本所・各支所
5.13	家畜共済病傷事故診断書審査委員会	本所
5.13	余裕金運用管理委員会	本所
5.14	広報担当者会議	本所・各支所（テレビ会議）
5.15	任意共済担当者会	本所・各支所（テレビ会議）
5.15	災害対策本部会議	本所
5.18	家畜共済担当者会議	本所・各支所（テレビ会議）
5.19～20	決算監査	本所
5.25	役員推薦会議	本所
令和2年6月		
6.10	第2回理事会	本所
6.11	家畜共済病傷事故診断書審査委員会	本所
6.22	第7回通常総代会（提出議案を原案どおり承認議決した）	本所
6.22	表彰伝達式	本所
6.24	収入保険に係るテレビ会議	全国農業共済組合連合会（テレビ会議）
6.24	なし着果調査	東部支所管内
6.25	全国農業共済協会第136回通常総会	全国農業共済協会
6.25	全国農業共済協会第2回理事会	全国農業共済協会
6.25	第1回全国特定組合長・会長会議	全国農業共済協会
6.25	全国農業共済組合連合会第7回通常総会	全国農業共済組合連合会
6.25	全国農業共済組合連合会第2回監事会及び第2回理事会	全国農業共済組合連合会
6.26	園芸施設共済若手職員意見交換会	農林水産省（テレビ会議）
6.29	新役員打合せ会	本所
6.29	収入保険担当者研修会	本所
令和2年7月		
7.1	第3回理事会	本所
7.1	第2回監事会	本所
7.3	なし着果調査	本所・石井分室管内
7.7	農作物共済担当者会	本所・分室・支所（テレビ会議）
7.8	第1回全国参事会議	全国農業共済協会
7.9	西日本参事会議	全国農業共済協会
7.10	保管中農産物補償共済に係る担当者説明会	全国農業共済協会（テレビ会議）
7.10	家畜共済病傷事故診断書審査委員会	本所
7.13	農林水産省主催第2回園芸施設共済若手職員意見交換会	農林水産省（テレビ会議）
7.17	農林水産省主催第3回園芸施設共済若手職員意見交換会	農林水産省（テレビ会議）
7.30	家畜診療所全員協議会	家畜診療所
令和2年8月		